

令和7年1月30日
株式会社スカパー・エンターテイメント
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

ナショナル ジオグラフィック 番組審議会議事録

- ・日時 令和5年12月03日(火)17:20～
- ・開催場所 東京都港区虎ノ門1-23-1
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社 27階会議室
- ・参加者 審議委員総数 9名
出席委員数 6名
書面参加委員数 2名
欠席委員数 1名

(出席委員名)

- 委員長 村川 幹夫 ((株)オリコン ME WEB 編集本部 執行役員/編集長)
- 委員 清水 優子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)
- 委員 太田 美千子 ((株)講談社 第三事業本部 副本部長兼こども事業部長)
- 委員 須貝 駿貴 (学術博士・QuizKnock)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 堀越 礼子 ((株)朝日新聞社 取締役)

(書面参加委員名)

- 委員 パトリック・ハーラン (タレント・大学講師)
- 委員 吉田 千佳 (ユーチューバー)

(欠席委員名)

- 副委員長 藤田 興彦 (学校法人和田実学園 元評議員)

(番組供給事業者側 参加者：ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

- 小峰 利憲 (ディレクター ファイナンス&プランニング)
- 佐藤 康平 (編成 マネージャー)
- 待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)

- ・議題 (1) ナショナル ジオグラフィックの番組編成について
(2) 審議番組『オーシャンエクスプローラーズ：探索！
地球最後のフロンティア』について

- ・ 議事内容

(以下、*：委員からの意見・質問、→：ディズニーの説明・回答)

(1) ナショナル ジオグラフィックの番組編成について

→12月より下記の新番組・新シーズンがスタート：

- ・ 新シーズン『ローマ帝国の失われた秘宝 2』
- ・ 新シーズン『仰天！運び屋 vs 取締屋 in 全米エアポート 7』
- ・ 新シーズン『ヨーロッパ空中散歩 5』
- ・ 新番組『WWII ヒーローズ・オブ・カラー：消された戦功』
- ・ 新番組『SUGARCANE／シュガーケイン』
- ・ 新番組『ブリック～美しき世界の記憶を』
- ・ 新番組『世界大自然紀行：海と大地の恵み地中海』
- ・ 新番組『獣医ミシエルのクリスマス・スペシャル』

→また、年末年始特別編成は下記の通り：

- ・ 特集：「真珠湾攻撃 あの日あの時」
- ・ 特集：「ポールと歩く！地球ジャーニー」
- ・ 【最新シーズン開始直前】ローマ帝国の失われた秘宝 全話一挙放送
- ・ 【年始特別編成】ニューイヤー・Dr.ポール・マラソン
- ・ 【年始特別編成】ニューイヤー・Dr.ミシエル・マラソン
- ・ 【年末特別編成】仰天！運び屋 vs 取締屋 in 全米エアポート 48時間一挙放送
- ・ 【年末特別編成】2024 アンコール傑作選！
- ・ 【年始特別編成】カー・SOS 蘇れ！思い出の名車 傑作選

(2) 審議番組『オーシャンエクスプローラーズ：探索！地球最後のフロンティア』 について

- ・ 放送概要：

令和6年8月24日(土)放送開始

約40分×全6話 二カ国語版

- ・ 番組内容：

映画界の巨匠、ジェームズ・キャメロンとブルー・プラネット II の製作陣が贈る、史上最も野心的な海洋アドベンチャーが登場。最新鋭の技術を搭載した海洋調査船、「オーシャンエクスプローラー (OceanXplorer)」、に世界各国の優秀な専門家が乗り込み、海

の生き物たちの謎に迫る。最先端の科学調査船に、パイオニア、研究者、映画制作者など、才能あふれるドリームチームが集結し、挑戦的・独創的なテクノロジー、息をのむ美しい映像とともに地球の最後のフロンティアと呼ばれる海の秘密を解き明かす。

- * もっと知りたい、見たいと思った。例えば、このザトウクジラのお母さんはもう結構30歳くらいのベテランで、ならば学習とかはしないのだろうか…と疑問が湧いてきた。なんとか他に自分の子供を助けるか次の子はちゃんと育てる方法っていうのは学べないんだろうかといった、みんなが疑問に思うであろうことについては、「このあとどうしたらいいの?」と感じるところがあった。
- * でもそういう意味で、本物であるだけに生きるとか生命力は、やっぱりすごいなと伝わってくるし、こういったドキュメンタリーが大好きなので、6話分だけではなく、もっと作ってもらいたい。
- * やはりさすがのBBCとキャメロン監督だ。
- * 母親のクジラの「学ばないのか?」というところは、まさにその通りで、本当に可哀そうだと思うが、手が出せない。これが自然界の厳しさ。
- * シャチの頭の良さというか能力の高さが伝わる。シャチにタグカメラを付けて映像を撮ったのはすごい。シャチに近づくのはリスクもあり大変だったと思うが、これのできたのがナショナルジオの強さで圧巻の理由。ぜひ続けてもらいたいと思える内容。
- * このプロジェクトには相当のお金が掛かっているはず。
- * まさにナショナルジオグラフィックという印象。本当にこういう番組が増えてほしい、定期的に放送されてほしいと思える重厚な作品。
- * 見て圧倒されて、リスペクトを抱かざるを得ないという内容。
- * 人生の中でこういうのに関わっていけたら、いい世界が作れていけるんじゃないかなと思わされるような作品。
- * 全ての面から、研究及び自然というものにリスペクトを感じるような番組構成で、もっとこういった作品を作ってほしいと感じた文句なしの番組。
- * 本当にそうだと思う。こういうのを見ると、アメリカの懐の深さを感じる。しっかりと科学的な部分で成長を及ぼす部分と、大きな経済的な効果がある。
- * 産学連携みたいなことが、行われてるのだと思う。
- * ジュール・ヴェルヌの世界のようだ。子供の頃に科学者たちがいろんな本や作品を見て、潜水艇とかを体現化して、実際にそれを本当に動かせるまでという風になってるのは凄い。
- * 専門家たちが興奮している姿がとてもリアル。彼らを見ていると、科学って好奇心から生まれるんだなというのがすごく伝わってくる。
- * 科学的に追求するってこんなに面白いことなんだ、興奮することなんだ、といったことを感じてもらいたいと思った。

- * ジェームズ・キャメロンならではのなのかもしれないが、まるで映画のようで、描き方も演出もすごく上手いし、尺も40分くらいと少し短いようだが、丁度よいと感じた。
 - * これを映画としてみるとしたら高く評価したい。だがドキュメンタリーとして見たら、内容は本当に素晴らしいし楽しめるが、あまりにも完璧すぎると感じた。
 - * ザトウクジラの子供がシャチに食い荒らされてしまうシーンで、とてもじゃないけどその残酷な瞬間を見れないと思ったが、これが本当のドキュメンタリーの作り方だと思う。
 - * だが、同時に全てがこう分析できてしまってる感じもしたので、ディレクターズカットみたいなものを是非見てみたいとも思う。もしこれが60分番組であれば、「実はこの部分はまだ解明されていないのだ」的なものを入れてほしい。私たちの想像の余地を残してほしい。
 - * 見始めるとすぐにもっと見たい、もっと知りたいと思うようになり、気になることを探索しながら見ていた。
 - * 使われているテクノロジーからこのプロジェクトの出資者のことまで、あらゆることに興味をもてる内容になっている。
 - * ナショジオの映像には毎回驚かされるが、この作品の映像の迫力と魅力に吸い込まれた。
 - * 科学的なことだけではなく、最後のシーンにて捕食者たちに攻撃される親子ザトウクジラの映像とそれを見る研究者たちのリアクションから、自然界のとてもリアルなドラマで感情が揺れる作品と感じた。
- この作品は、アメリカ本国でも本来なら昨年ローンチしている作品だったが、一年遅らせて、それだけ構想に時間を掛けた作品に仕上がっている。
- また、これは全世界的に一斉に出していこうという作品のひとつで、あらゆるプラットフォームでこの作品を打ち出していくということで力を入れている。
- 日本ではこの探索系の番組は視聴率を取りにくいところもあるが、この作品はまた渋谷のPARCOでもイベントをさせて頂いたということもあり、初回で0.14%という視聴率を取ることができたため、今後もこういった作品を入れていきたい。
- また、尺を短くしているっていうのは、配信を意識しているところもあり、40分くらいと比較的短めとなっている。
- * ジェームズ・キャメロンは、たぶん海の仕事してる時が、最も生き生きしているように見える。海の探索でいろいろ試し、それを自分の映画製作に活かしているようだ。
 - * 映画製作をいったん中断してまでここに力を入れてるっていうのは、良く伝わるので確かに素晴らしい作品だと思う。

- ・ **審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：**

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和6年12月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

- ・ **審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：**

令和7年1月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上

